

{ 音楽 } が終わったら —— ポスト音楽時代の産業 / テクノロジー / 言説

2013年5月18日[土]・19日[日] | 京都精華大学・黎明館

協力: 京都精華大学ポピュラーカルチャー学部

JASS

■参加費と参加資格

会員 / 非会員を問わずご参加いただけます。ご入場の際、参加費1000円を頂戴いたします(学生・大学院生は無料)。

■懇親会 / 日曜日の昼食

1日目(土)のプログラム終了後、18:30より学生食堂「れあた」にて懇親会を行います。参加費は4000円です。ふるってご参加ください。また、人数確認のため、懇親会参加希望者はメールかファックスにて5月7日までに大会実行委員会までご連絡ください。

大会開催中、昼食は、近隣に適当な食堂、レストランがございません。2日目、5月19日は、学生食堂が開かれていないため、ご面倒でもお弁当などを各自ご用意いただくよう、何卒よろしくお願いいたします。また、お弁当の注文も受け付けますので、ご希望の方はメールかファックスにてご連絡ください(同封の懇親会参加 / 昼食注文票をご参照ください)。

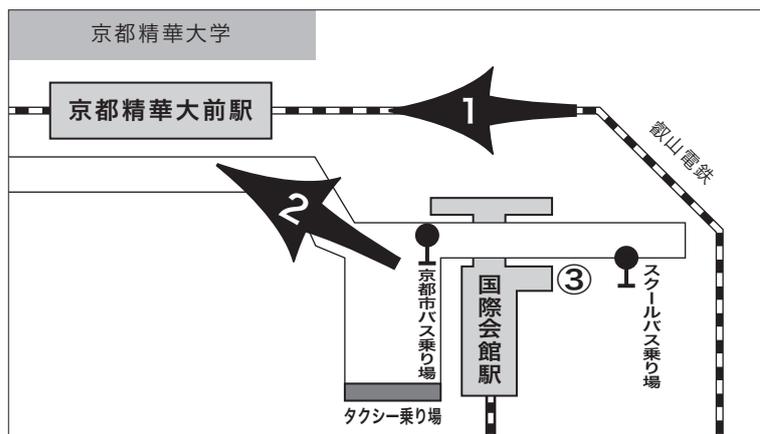
■会場住所

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137 京都精華大学・黎明館

■交通アクセスのご案内

- 1 叡山電鉄・京都精華大前駅より徒歩すぐ
- 2 京都市営地下鉄烏丸線・国際会館駅(③番出口)よりスクールバス約10分(無料)

※日曜日はスクールバスの運行がございません。国際会館駅からいらっしゃる場合は、京都バス40/50(2番のりば)で京都精華大学下車、あるいはタクシーをご利用ください。



お問い合わせ先 | 日本記号学会第33回実行委員会

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137 京都精華大学・佐藤守弘研究室
TEL:075-702-5129 FAX:075-722-0838 E-MAIL:morihiro1966@mac.com

〈音楽〉が終わったら—ポスト音楽時代の産業／テクノロジー／言説

日常生活のあらゆる局面へデジタル技術が浸透した現在、今日の〈音楽〉を巡る状況もドラスティックに変化を遂げています。ライブ演奏を前提とする西洋芸術音楽や民族／フォーク音楽と異なり、20世紀以降のポピュラー音楽は、録音という複製技術を媒介として流通・受容されてきたという点に特徴があります。音楽を記録するメディアは、ヴィニール盤からCDへと移り変わり、そして昨今ではインターネットによるデータ授受へと変化を迎えています。またそれに先立つ音の電子的な合成、デジタル技術による音の複製、コンピュータによる自動演奏などは、物理的な原因による音を、人間が発生させて組み合わせるといった従来の〈音楽〉の常識を塗り替えてきました。〈音楽／MUSIC〉という枠組みでは捉えきれないような現代の状況を「ポスト音楽」と名付けるとすれば、こうした変化は、音／音楽のコミュニケーションのあり方自体への問い直しも要請するでしょう。こうした状況に記号学／記号論はどのように寄与するのでしょうか。本大会では、サウンド・アートやアコースマティック音楽という実験、音楽制作／受容状況の変容、ポピュラー音楽研究の現状という3つの点から考えてみたいと思います。

京都精華大学は今年度より、音楽コースとファッションコースからなる新学部、ポピュラーカルチャー学部を立ち上げました。今回の大会では、とくに音楽コースのスタッフを中心として、さまざまな領域から多彩なパネリストを迎えます。

日本記号学会 第33回大会実行委員会

〔1日目〕

5月18日(土)

12:30-13:30

理事会・編集委員会 黎明館L-102

13:00-

【開場・受付開始】

13:30-

【開会の辞、総会】

14:00

【実行委員長挨拶・問題提起】 佐藤守弘(京都精華大学・視覚文化論)

14:30-18:00

【セッション1+パフォーマンス】 黎明館L-101

音=人間=機械のインタラクション

The SINE WAVE ORCHESTRA:城一裕(情報科学芸術大学院大学[IAMAS]-音響学/インタラクション・デザイン)、石田大祐(アーティスト)、古館健(アーティスト/プログラマー)

RAKASU PROJECT:落見子(京都精華大学・電子音響)

フォルマント兄弟:三輪真弘(情報科学芸術大学院大学[IAMAS]-作曲/メディアアート)、佐近田展康(名古屋学芸大学・メディアアート/メディア論)

司会:吉岡洋(京都大学・美学/メディア理論)

18:30-

【懇親会】れあ

※プログラムは変更の可能性があります。

〔2日目〕

5月19日(日)

10:00-11:00

【研究報告1】 黎明館L-001

【近代のニヒリズムに対する記号的装飾による共同体の連帯—モノグラムと江戸小紋】

中野恭子(四條畷学園短期大学)

【『作られたもの』としてのフィクションと情動の問題—修辞学的考察】

石田尚子(お茶の水女子大学)

11:15-12:15

【研究報告2】 黎明館L-001

【パースの記号論における「意識」:ふたつの「習慣」との関係において】 佐古仁志(大阪大学)

【引きこもり対策としての家族関係修復のセミオシス】 外山知徳(静岡大学)

12:15-13:30

昼休み/理事会・編集委員会 黎明館L-102

13:30-15:30

【セッション2】 黎明館L-101

音楽・産業・テクノロジー—音楽制作の現状

佐久間正英(京都精華大学・音楽制作)、榎本幹朗(音楽コンサルタント)、山路敦司(大阪電気通信大学・作曲)

司会:水島久光(東海大学・メディア論)

15:45-18:00

【セッション3】 黎明館L-101

モノと人と音楽と社会—ポピュラー音楽研究のフロント

南田勝也(武蔵大学・音楽社会学/情報メディア論)、土橋臣吾(法政大学・社会学/メディア研究)、谷口文和(京都精華大学・音楽学)

司会:安田昌弘(京都精華大学・文化社会学/ポピュラー音楽研究)

18:00

【閉会の辞】

※プログラムは変更の可能性があります。